AR-Ex Medical Group

自分の可能性を最大限に広げる
なりたい自分を叶える
そんな夢を応援します

医療法人アレックス

柔道整復師

2024年度（令和6年度）
新規採用募集案内

佐久平整形外科クリニック
〒385-0022 長野県佐久市岩村田1311-7

明大前整形外科クリニック
〒156-0043 東京都世田谷区松原1-35-23

上田整形外科内科
〒386-0018 長野県上田市常田2-15-16

長野整形外科クリニック
〒381-0043 長野県長野市吉田5-26-23

都立大整形外科クリニック
〒152-0032 東京都目黒区平町1-26-3 2F

AR-Ex 尾山台外科
〒158-0082 東京都世田谷区等々力4-13-1

アレックス脊椎クリニック
〒158-0082 東京都世田谷区等々力4-13-1

さいたま整形外科クリニック
〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-35 大塚ビル3F

医療法人アレックス
理事長　林　英俊

柔道整復師の皆さんへ

AR-Ex Medical Group は関節鏡視下手術、リハビリテーション、運動療法に特化した「スポーツ整形外科専門医療グループ」です。スポーツ外傷・関節疾患を治療する上で、最も重要と考える３つの治療分野（関節鏡視下手術：Arthroscopy、リハビリテーション：Rehabilitation、運動療法：Exercise）の専門スタッフがチームとなって外来から入院、そして復帰までと安心できる環境を整備し、完全サポートします。職員も探求心、高い意欲を持って日々の臨床を行っており、それを支える先輩職員も多くいます。

私たちの考えや活動に共感してくだされば幸いです。患者さんや選手のために日々研鑽し、柔道整復師としての地位（Status）の構築をしていきましょう。

チームドクターとしてサポートしているチーム
・読売ジャイアンツチームドクター
・KONAMI体操部チームドクター

グループの取り組み

臨床

・各施設を繋げての医師との術前オンラインカンファレンスの実施（毎週）
・2021 年 年間手術件数 661 件
　主な手術：膝前十字靭帯（ACL）再建術（2018 年東京都の前十字靭帯再建術件数第 2 位）、膝半月板縫合・部分切除、術肩腱板修復術（ARCR）、肩関節脱臼修復術（Bankart）、腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PED）、足靭帯縫合術、股関節唇形成術、肘離断性骨軟骨炎・軟骨移植術　など
・工藤慎太郎教授（理学療法士：森ノ宮医療大学保健医療学部）、成田崇矢教授（理学療法士：桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）による臨床指導
・各施設の教育・研究リーダー（横ラインメンバー）による臨床教育
※縦ライン：所属する施設の院長・副院長・医師・管理職・一般職員からなる施設毎の診療業務の体制
※横ライン：各施設から選出されたメンバーで構成され、最新・最高の治療提供をコンセプトに活動する

研究

・職員全員参加で行う院内学会（アレックス学会）の開催（年１回）
・研修制度（年間予算 1000 万円超）を使用した学会参加・発表
　発表演題：
　「超音波診断装置を用いた変形性膝関節患者における膝関節屈曲による膝蓋下脂肪体の形態変化の特徴」
　「バレエダンサーの股関節傷害予防に対する股関節外旋筋トレーニングの有用性」
　「他職種から構成される医療クラークの業務範囲と今後の課題」　など
・横ラインメンバーによる学会発表および論文等の業績支援
・森ノ宮医療大学の工藤研究室との超音波を中心とした共同研究

スポーツ外部活動

・野球：読売ジャイアンツ、東京バンバータ、上田南リトル・シニア、佐久シニア、早稲田大学高等学院
・体操、新体操：コナミスポーツクラブ体操競技部、日本大学女子器械体操部、日本工業大学駒場高校体操部
　埼玉栄高校男子体操部、国士舘大学新体操部、日本女子体育大学新体操部、伊那西高校新体操部、TWIS
・サッカー：AC 長野パルセイロ(J3)、長野日本大学高校サッカー部
・バスケットボール：信州ブレイブウォリアーズ、早稲田大学女子バスケ部、明星大学女子バスケ部
・その他：ルートインホテルズ Brilliant Aries（バレーボール）、SEIBU プリンスラビッツ
　東洋大学陸上部（女子長距離部門）、明治大学アイスホッケー部、鶴見高校女子ラクロス部
　東京都市大学アメリカンフットボール部、東京都市大塩尻高校女子バレーボール、飯山高校スキー部
　長野県国体チーム（ソフトボール・アイスホッケー・新体操・バスケットボール）
　トゥリトネス（水中パフォーマンスショー）
・学校事業：障害予防相談・指導、姿勢改善教室

入職からの将来ビジョン

入職

まずは医療クラークとして医師の診療業務につきながら治療方法や検査などの医学的な知識を習得する。医療知識が身に付いてきたらリハビリテーション業務を行う。

臨床：
医療クラーク
リハビリテーション

臨床で基礎を学んだら自分の専門性を作って研究をしたい。その領域の日本のリーダーの一人になりたい。

①臨床＋研究

基礎を学んだらスポーツ現場で選手のサポートをしたい。現場でしか学べないスキルを磨き、一流のトレーナーとして活動したい。

②臨床＋スポーツ外部活動

臨床をしながら担当する部署をまとめていきたい。次のアレックスを背負う若い人の教育をして法人全体のレベルアップを図りたい。

③臨床＋管理職

①臨床＋研究

「AR-Ex は超音波に夢中です！」をコンセプトに自分の研究の方向性を決め、臨床で実力をつけていきながら専門性を磨いて研究も行う。

・部位を決め横ラインに所属
・例えば森ノ宮医療大学
　工藤研究室の研究員に所属

Status

- 研修費からの学会・研修会補助
- 横ライン特別手当
- JT グレード別資格手当

②臨床＋スポーツ外部活動

医師や先輩が帯同するスポーツ現場に一緒についていき学習。
徐々に自分の関わっていくチームやスポーツ現場を作っていく。

・スポーツ（種目）を決め
　横ラインに所属
・チームや近隣の学校に直接的、
　間接的に関わっていく

Status

- サポート選手受診に対するインセンティブ
- 横ライン特別手当
- JT グレード別資格手当

③臨床＋管理職

部署の職員をまとめる主任、施設全体をまとめる管理部長をめざす。
関連会社の BCF の接骨院で院長として運営する

【主任】管理能力の養成
【部長】本部の指導・教育で擁立
【BCF 接骨院院長】
　クリニックと連携した接骨院運営

Status

- 役職手当 主任-部長-院長
- 部長給与 年俸制
- JT グレード別資格手当

院内システムの紹介

○ネットワークシステム

電子カルテなどのデータ、動画、静止画、音声などの情報をセキュリティの高いネットワークを活用し、どこにいてもリアルタイムで送受信が可能となるシステムを導入しています。専門医による診察や指導、また術前カンファレンスや症例検討会や勉強会などに活用しています。

○柔道整復師の給与

新卒者：月給179,100円（基本給＋資格手当+職務手当）

地域手当：東京・埼玉 30,000 円、長野 10,000円支給

※4年目からは個別契約となります

グループ独自に設定したグレーディング制度を基に評価を行い資格手当を決定し支給致します。

※経験者はご経験により基本給を決定致します

○クラークグレーディング

グループ内で統一した評価に基づき特別手当を別途支給

※クラーク業務の実施状況により支給致します

【セラピストグレーディングの内容】

○Grade Ⅰ：リハビリテーションを実施していく上での基本的思考能力と解決能力を養成していく期間（新卒から3年間）

○Grade Ⅱ：リハビリテーションを実施していく上での基本的思考能力と解決能力を備え、治療アルゴリズムを理解し実践できる

○Grade Ⅲ：専門的な知識・技術を持ち治療のコーディネートができる
臨床面における教育をスタッフに実施する

○Grade Ⅳ：臨床スキル、学術的スキルともに職員のシンボル的存在となり教育する
治療方法を医師に上申することができる
リハビリ部門の管理運営を補佐していく

○外部講師による定期的な臨床指導

工藤慎太郎教授（理学療法士）

超音波画像評価を用いたリハビリテーション

rehabilitative ultrasound imaging(RUSI)

成田崇矢教授（理学療法士）

腰痛・脊椎疾患の評価と治療

○研修制度（学会・研修会への参加費の補助）

森ノ宮医療大学へ超音波研究研修実施

海外でのキャダバートレーニング参加

接骨院と連携した研修・勉強会

○学会発表

「超音波診断装置を用いた変形性膝関節患者における膝関節屈曲による膝蓋下脂肪体の形態変化の特徴」など

【クラークグレーディングの内容】

○GradeAA：グループ全体の管理運営、看護師への技術教育

○GradeA ：グレーディング評価実施者、施設の運営管理

○GradeB ：手術申込み・術前検査手続き、処置介助実施

○GradeC ：評価・所見の理解、診察時のコスト代行入力

Status と福利厚生の向上

役職手当（主任・部長）

インセンティブ（プロジェクト業務）

特別手当（クラーク・セラピスト・横ライン）

研修制度の利用（費用の補助・一部補助）

治療アルゴリズムの理解と実践：JT 資格手当

先輩の指導を受けながら自分の得意な分野、専門分野を見つけていきます。

その分野でステップアップを目指し Status と福利厚生が向上するようにしていきます。

― スポーツ・難治性疼痛外来 ―

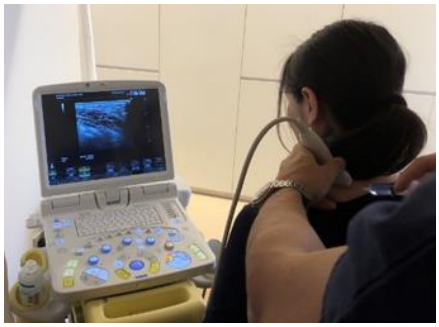
●体外衝撃波治療

●超音波ガイド下組織間リリース

●選択的神経ブロック

●TENEX 超音波治療・PRP 治療

●リハビリテーション



トップレベルのスポーツ選手の治療経験を元に、その方法を患者さんに還元していきます。MRI・CT・超音波検査などを用いて痛みの原因を詳細に診断した上で治療を行っていきます。スポーツ難治性疼痛外来で行っている特殊な治療は、患部の状態を改善するにすぎません。症状を取り除き、再発を防ぐためには原因への対処が必要です。そのためには患部周囲のコンディショニングや患部の組織の状態を改善するリハビリテーションが有効です。今、私たちは多くの選手や患者さんが体外衝撃波治療を受けられる様に集中型の治療装置と拡散型の治療装置を都立大、明大前、尾山台、さいたま、佐久平、上田、長野と環境を整え治療を受けられる様に進めています。

― 専門性の高い医師による外来 ―

グループ内の各施設では脊椎クリニックのように各関節や整形外科疾患に対して経験豊富な医師による専門性の高い外来診療を行っております。スポーツや日常生活で痛みなどを抱える患者さんに対し、レントゲンや CT、MRI、超音波を用いた画像診断により組織の損傷の程度を確認し、理学所見によりどのような動作で痛みが出るか評価を行い、患者さんの症状に合わせた治療にあたります。原則リハビリテーションを中心とした保存療法を行いますが、十分な効果が得られない場合には関節鏡視下手術を検討します。

― 関節鏡視下手術 ―

関節内に原因のある疾患の多くは、「関節鏡」という内視鏡手術により完治を目指すことが可能です。この手術はとても緻密な作業で、高い技術力を必要としますが、最小の傷で関節内部の障害を治すことができます。また、関節鏡を用いると関節の中を観察できるため、どの部分が傷んでいるのか正確に分かり、術後のリハビリテーションや運動療法を的確に行うことができます。アレックスでは全身の関節鏡視下手術を行い、術後早期よりリハビリテーションを開始し、選手や患者さんの早期復帰を目指しています。

【2021 年度年間手術件数 661 件】

― 外部講師による臨床指導 ―

工藤慎太郎氏（理学療法士：森ノ宮医療大学）と成田崇矢氏（理学療法士：桐蔭横浜大学）に定期的に臨床指導にお越しいただいております。

工藤先生にはリハビリテーションに生かす超音波画像評価 rehabilitative ultrasound imaging(RUSI)をご指導いただき、工藤先生が講師を務められる RUSI workshop にも職員がアシスタントとして参加させていただき、動態評価のスキルを身につけ、運動器の超音波評価のスペシャリストを目指して系統的に学んでいます。

成田先生には脊椎疾患の評価と治療方法をご指導いただいております。患者さん一人一人の病態をシステマチックに判別する機能評価を行い、病態に応じた治療の戦略を立て、腰痛や脊椎疾患の患者さんへ対応できるよう学んでおります。

―グループ内の研修―

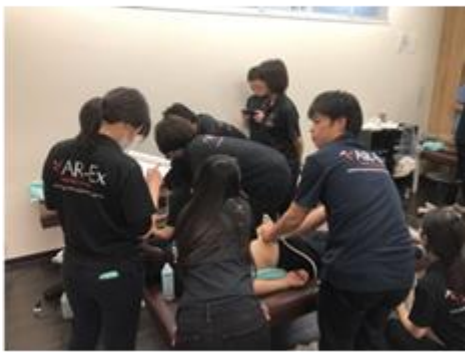
新人研修は医療クラークとしての患者さんに対応する際に必要な知識、医師が患者さんに対して行う評価・治療に関わる知識の研修、また社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルなどの一般教養を Web や OJT にて実施しています。

特に日々の診療に関わる内容や手術療法、薬物療法についての内容を新人の柔道整復師から経験を積んできている柔道整復師までグループ全体で知識を高めるために様々な研修を行っています。座学では医療安全、感染対策や整形外科疾患の病態などの研修を行い、実技研修では患者さんの急変時の対応やエコーの動態評価、治療技術を身に付ける研修会を行っています。

―柔道整復師研修―

柔道整復師は医療クラーク、リハビリなど多岐にわたり業務を行います。医療クラークやリハビリの新人研修ではそれぞれ 60 時間を超える内容の研修を行いますが、それ以外にもリハビリのプラン組み立て方など柔道整復師が学校では習ってこない内容についても研修を行い、理学療法士と同様にリハビリ業務ができるような教育体制を作っています。その他に接骨院経営やメンタルコーチング、マネジメントなど治療スキル以外で必要な知識技術を学ぶ研修も行い、技術研修以外にも力を入れています。

―超音波画像評価研修―



医師の指導のもと柔道整復師やトレーナー、理学療法士や看護師など多くの職員が「AR-Ex は超音波に夢中です！」というコンセプトに患者さんの痛みの原因を正確に把握し治療に役立てるため、また専門性を身につけていくために超音波画像診断装置での評価方法の研修を行っています。

筋肉や腱、骨軟骨組織や末梢神経、神経絞扼部位（entrapment point）を超音波画像診断装置で正確に抽出できるように日々研修しています。

2023 年第 34 回日本整形外科超音波学会にて AR-Ex 尾山台整形外科の平田正純副院長が学会長に就任します。グループとしても盛会となるよう超音波を利用した研究を進めていきます。

―元プロ野球選手の野球教室―

元読売ジャイアンツの寺内崇幸氏、脇谷亮太氏、山口鉄也氏を講師にお招きして野球選手や家族、指導者などを対象とした野球教室を開催しました。野球の怪我や予防方法、野球が上手くなるためのコツを教えていただきました。職員も参加者と共に講演を聴き、選手の視点や考え方を学ぶ機会となりました。

この教室も継続的に開催していきクリニックの患者さんだけでなく地域の野球に関わる方々への情報発信の機会としていきたいと考えています。

AR-Ex Medical Group
Arthroscopy Rehabilitation Exercise

佐久平整形外科クリニック
上田整形外科内科
都立大整形外科クリニック
アレックス脊椎クリニック
明大前整形外科クリニック
長野整形外科クリニック
AR-Ex尾山台整形外科
さいたま整形外科クリニック

AR-Ex Medical Group

医療法人アレックス（本部）

〒385-0022
長野県佐久市岩村田 1109-4
TEL：0267-66-7130
https://ar-ex.jp/

ご質問やお問い合わせは
お気軽にご連絡下さい。
担当：兼子　昌幸
E-mail：jinji@ar-ex.jp